

### 第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

名称		ビジットGIFU協議会		
住所		岐阜市神田町1-8-5 協和興業ビル6階 (公財)岐阜観光コンベンション協会内		
代表者氏名		会長 伊藤 善男		
連絡先		電話：058-266-5588		
構成員		十八楼 <u>長良川観光ホテル石金</u> <u>岐阜グランドホテル</u> <u>ホテルパーク</u> 鶉匠の家すぎ山 <u>岐阜都ホテル</u> <u>きんか</u> (構成員7者、うち補助対象者5者(計画時7者))		
団体事業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	(1) Wi-Fi整備 2件、(2) 多言語対応タブレット端末整備 3件、(3) 客室の和洋室化・トイレの洋式化 2件		
	実施時期	平成28年9月12日～平成29年1月5日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 7,518,000円 補助金合計 3,733,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	65.1 (%) (75.3)	70.0 (%) (77.0)	66.8 (%)
	第2四半期	71.9 (%) (78.7)	78.0 (%) (79.0)	66.0 (%)
	第3四半期	68.4 (%) (74.1)	72.0 (%) (78.0)	60.4 (%)
	第4四半期	48.6 (%) (54.2)	51.0 (%) (56.0)	47.6 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>全体稼働率の目標達成はできなかった。第1四半期については、目標は下回ってはいるが、事業開始前と比べて増加している。総宿泊者数について、昨年に比べて国内旅行者が約5,000人減少し、特に地元東海地方からの宿泊客の減少が著しい。その一方外国人旅行者は昨年に比べて約1,000人増加している。第3四半期の落ち込みが激しい点については、10月に相次いで台風が接近するなど天候悪化が要因の一つと考えられる。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p>&lt;事業開始前&gt;</p>	<p>&lt;目標&gt;</p>	<p>&lt;実績値&gt;</p>
	<p>第1四半期</p>	<p>19,100 (人) (18,199)</p>	<p>27,500 (人) (26,500)</p>	<p>19,567 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>9,710 (人) (9,509)</p>	<p>14,000 (人) (13,500)</p>	<p>6,801 (人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>11,309 (人) (10,770)</p>	<p>16,000 (人) (15,000)</p>	<p>11,344 (人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>7,819 (人) (7,185)</p>	<p>12,500 (人) (11,500)</p>	<p>10,791 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>目標は達成できなかった。外国人宿泊者数の動向として、平成27年度に爆発的に増加した中国からの団体客が、大幅に減少したこと、東南アジア諸国からの団体客が増加していること、世界的な個人旅行化により欧米諸国からの個人客増加が挙げられる。第2四半期以外は目標には届かなかったが、事業開始前よりも実数が増加している。第2四半期にシーズンを迎える観光資源、ぎふ長良川鶴飼がまだ外国人に魅力が伝えきれていないのも要因のひとつと思われる。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>長良川温泉全体では、中国を中心とした従来の団体ツアー客が、国やJNTOによる集中的な震災復興プロモーションを実施している東北・九州地方に流れていることから、中部地域・岐阜県とともに宿泊者数が減少している。また、世界的な個人旅行化とLCC（格安航空会社）就航の影響により、公共交通の整う国際空港近隣の大都市に連泊し、地方旅行は日帰りオプションとして訪れる傾向がみられる。しかし、数年前より現地プロモーションを継続してきた東南アジア諸国、とりわけタイ・インドネシアについては、インセンティブツアーを中心として団体客が増加傾向にあるため、今後も岐阜県とも連携しながら地道に現地旅行会社、ランドオペレーターに継続的に働きかけていく。</p>			

### 様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	伊豆インバウンド&教育旅行協会			
住所	静岡県伊東市八幡野 1 0 3 9 - 2 4			
代表者氏名	服部 誠			
連絡先	0 9 0 - 4 8 6 9 - 9 6 7 9			
構成員	<u>ジェムスティーイン伊豆高原</u> <u>一本のえんぴつ</u> <u>とうてんぼーる</u> <u>レ・セゾン</u> <u>オーパ・リゾート</u> <u>シャトー・レ・フルー</u> <u>M倶楽部</u> <u>エンジェルキッス</u> (構成員 8 者、うち補助対象事業者 8 社)			
団体事業	具体的な内容	協会ホームページの日本語、英語、中国語での多言語化によるリニューアル		
	実施時期	平成 2 8 年 9 月 3 0 日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計	2, 8 0 0, 0 0 0 円	
		補助金合計	1, 0 0 0, 0 0 0 円	
個別事業	具体的な内容	協会ホームページの多言語化に伴う各施設ホームページの多言語化及び紐づけ作業		
	実施時期	平成 2 8 年 9 月 3 0 日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計	4, 0 0 0, 0 0 0 円	
		補助金合計	2, 0 0 0, 0 0 0 円	
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前> (H27年度)	<目標> (H29年度)	<実績値> (H29年度)
	第 1 四半期 (4~6月)	3 8 . 5 (%)	4 9 . 6 (%)	3 8 . 3 (%)
	第 2 四半期 (7~9月)	6 2 . 5 (%)	7 5 . 8 (%)	4 5 . 8 (%)
	第 3 四半期 (10~12月)	4 3 . 8 (%)	5 8 . 5 (%)	2 7 . 2 (%)
	第 4 四半期 (1~3月)	5 8 . 7 (%)	7 3 . 6 (%)	3 4 . 5 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	数値があらわす通り、第 4 四半期を除き前年より稼働率が激減してしまった。 理由としては ①複数の施設において病気、入院などの負の要素が生じ、部屋の販売はしているが、販売サイトへの適切なプランア			

	<p>アップをしていなかったため、お客様への施設の訴求が十分にできていなかった。</p> <p>したがって販売部屋数に変化はあまりないが、稼働率としては落ち込んでしまった。ただ聞き取り調査をすると販売金額においてはそんなに各施設の落ち込みはなかったため少しはホッとしているところである。</p> <p>②伊豆も他の観光地と同様、民泊を始めている施設、またそれらを紹介する企業が増えてきた。マスコミなどにより民泊、民泊と騒がれているので興味本位で利用する観光客も増えてきたことは否めない。保健所、消防など関係省庁への届け出はせず無許可であるが、エア－B&amp;Bなどにはアップできる。遊ばせている別荘などを観光客に安価にて提供しているため、我々のようなペンション、民宿に直接影響を及ぼしているものと考えられる。大手旅館、ホテルなどの客層とは違い、我々の小規模施設を利用する客層なので直接の影響は大である。今後6月にかけて駆け込み届け出をするもしくは推進する業者がたくさん出てくるので、今後ますます我々ペンション、民宿業が圧迫されるのではと懸念をしているところである。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p>&lt;事業開始前&gt; (H27年度)</p>	<p>&lt;目標&gt; (H29年度)</p>	<p>&lt;実績値&gt; (H29年度)</p>
	<p>第1 四半期 (4～6月)</p>	<p>200 (人)</p>	<p>330 (人)</p>	<p>483 (人)</p>
	<p>第2 四半期 (7～9月)</p>	<p>50 (人)</p>	<p>130 (人)</p>	<p>611 (人)</p>
	<p>第3 四半期 (10～12月)</p>	<p>100 (人)</p>	<p>250 (人)</p>	<p>350 (人)</p>
	<p>第4 四半期 (1～3月)</p>	<p>150 (人)</p>	<p>300 (人)</p>	<p>369 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>今年度において、当協会による外国人団体誘致は一件のみであった。</p> <p>(実際は二件台湾からの団体がある予定であったが、地震の影響で今年度は一校が見送るとの事であった。)</p> <p>伊東市を含む伊豆半島内7市6町村による集合体(美しい伊豆創造センター)による外国人客誘致が徐々に効果を表し始め、特に台湾からの観光客の伸びは目を見張るものがある。一昨年度には、年間10万人以上の外客を迎え入れ昨年度はおそらく13万人くらいであろうと思われる。</p> <p>そんな中、当協会会員施設においてもブッキングドットコム、アゴダドットコム、エクスペディアドットコムなどの海外予約サイトを利用してもらうべく一昨年勉強会を開き</p>			

	<p>8 施設すべてがそれらを利用し始めたこともあり、外客誘致では、順調に数字が推移している。又、国際交流サービス協会と連携し各施設における外客へのおもてなし（サービス）向上を独自で行っているため、口コミなどで少しは広がりそれが良い連鎖になっているのではと考える。</p> <p>第2四半期は、外客が大変に多くなっているが、夏場にこのようにたくさんの外客が伊豆のような暑い所に来るとは思ってもみなかったため、目標を低く設定してしまい嬉しい誤算である。第2四半期の大幅な数字の変化は、当協会による外客団体誘致はなかったものの、伊東市ホームステイの会の依頼により、200名ほどの外客の受け入れもあったためこのような大幅な数値上昇になったものである。</p>
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>① 現在当協会を含む民宿組合、ペンション協同組合における喫緊の課題はエア－B&amp;B、百戦錬磨、その他民泊紹介サイトによる紹介攻勢をいかに防ぐかである。それはなぜか？民泊が伸びるにつれ営業圧迫をされるのが民宿・ペンションなどの小規模施設だからである。稼働率の項目でも述べたが、大手ホテル・旅館を利用するお客様は民泊、民宿などはそもそも利用しない客層である。しかしながら民宿・ペンションの客層はまさに民泊を利用する客層である。宿泊業界内では民泊と民宿・ペンションは違う形態であるとの認識であるが、利用者にとっては民宿・ペンション＝民泊となり同一視されているのが現状である。民泊をされているもしくはしようとしている方々は、おそらくどここの組合にも所属をしないので実態把握がむづかしい。届け出制ではあるが、無届で営業を続ける方々も当然出てくるはずである。我々としては極力実態把握をして安全面、安心面での協力・指導をして共存・共栄を図ることが出来ればと願っている。</p> <p>② 海外予約サイトとの連携：  外客伸び率の項目でも述べたとおり、海外予約サイトの勉強会を開いたところ外客営業成績が結構よくなってきた施設が多々ある。定期的にこのような勉強会を開いたらという声が上がってきている。  海外サイトとしても彼らの営業アップのチャンスととらえ、勉強会に新規参画希望者を募ってくれるのならという条件付きながら賛同をしてくれたので、定期開</p>

催の決定をした。(海外大手予約サイト3社、  
Booking.com, Agoda.com, Expedia.com)

③ 現地旅行エージェントの活用：

昨年度までは、現地高校・大学などへの直接訪問に力を入れてきたが、それには結構な労力を要するものである。幸いにもそれらの訪問が活きてき始め、現地旅行代理店の日本法人から問い合わせがあるようになった。最初は分宿(会員宿泊施設自体が受け入れ人数30人以下の施設なので分宿にせざるを得ないし、各会員への公平性を期すため)に難色を示す中、日本舞踊、生け花、折り紙、着物着付けなどの日本文化紹介プログラムなどに興味を持ってもらえるようになった。今一度直接学校訪問もさることながら、現地旅行代理店(特に修学旅行に力を入れている代理店)へのアプローチもしなくてはと痛感している。

④ ホームステイの会、善意通訳の会など外客誘致に理解のある組織と綿密に連携をして、彼らが帰国した際に「日本に行って良かった。今度は家族で行ってみたい。」と喜んでもらえるおもてなしを心がけて、日本の外客が4000万人を超えるお手伝いが出来たらと思っている。

ちなみに、私たちのおもてなしとは、

- A. お 親が子供に常に対するように
- B. も もったいぶらず
- C. て 手間を惜しまず
- D. な 皆を和やかにし
- E. し そして皆の幸せを願う

このような思いで各施設頑張っている。この頑張りに敬意を表するとともに外客誘致増貢献できるようにいろいろな施策を提供し続ける所存です。

### 第3号様式 別紙

#### 宿泊事業者等団体

名称	愛知県美浜町観光協会旅館部	
住所	愛知県知多郡美浜町大字奥田字森越70-3	
代表者氏名	渡邊 日出雄	
連絡先	TEL 0569-83-6660 FAX 0569-87-5550 (観光協会 事務局長 原)	
構成員	<u>いろはや旅館/新栄館/柏屋旅館/観光旅館かざりや/海浜館</u>  (構成員 5者、うち補助対象者事業者 4者 (計画時4者))	
団体事業	具体的な内容	なし
	実施時期	
	必要な資金の額及びその調達方法	
個別事業	具体的な内容	館内及び客室内トイレの洋式化 4件
	実施時期	平成28年9月1日～10月31日
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 2,420,100円 補助金合計 1,208,000円

全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1 四半期 (4~6月)	15.7 (%) (14.0)	20.0 (%) (18.0)	9.4 (%)
	第2 四半期 (7~9月)	43.8 (%) (37.5)	45.0 (%) (40.0)	34.7 (%)
	第3 四半期 (10月~12月)	30.7 (%) (23.0)	35.0 (%) (28.0)	28.2 (%)
	第4 四半期 (1~3月)	27.7 (%) (23.0)	30.0 (%) (25.0)	19.0 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	<p>・稼働率実績値については補助対象者のみで算出した場合に、第3四半期のみ上回り、あとは目標数値を下回る結果となった。第3四半期はキリスト教関連の団体が複数受注できたため、ボリュームアップができたが、届かなかった。過去全くインバウンド誘致活動がされていなかったが、海外の招請事業の受入れをしたり、インバウンド商談会に出席しPRすることで、問い合わせ案件も増えてきたので今後に期待したい。</p>			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1 四半期 (4~6月)	0 (人)	50 (人) (45)	0 (人)
	第2 四半期 (7~9月)	0 (人)	100 (人) (90)	448 (人)
	第3 四半期 (10月~12月)	0 (人)	100 (人) (90)	12 (人)
	第4 四半期 (1~3月)	0 (人)	150 (人) (135)	15 (人)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	<p>・総人数では達成したが、特定の施設の特定団体（聖歌）でボリュームアップ。日本人との混合グループが多い。このことについては、まず宿泊単価が安い地域のため、研修や合宿目的の団体の問い合わせが入るため。昨年のT I T Fへの参加、第3四半期から日本でのインバウンド商談会などに積極的参加、また中部運輸局の招請事業の受け入れも積極的に行い、若干香港からのF I Tが増えた。またタイからのスポーツ交流案件もオファーがあり決定見込みとなっている。</p>			
その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事	<p>&lt;事業評価に関する事項&gt; 一部の旅館のトイレの洋式化をしてほぼほぼ宿泊施設の洋式化はできたが、観光客の最初の窓口の基幹鉄道である名</p>			



業の改善策	<p>古屋鉄道の駅構内トイレ、海岸や観光地のトイレが和式であるため、根本的な解決に至っていない。</p> <p>&lt;次の1年間における事業の改善策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・外客誘致にかかせない問題として、多言語化がある。平成28年に既存のパンフレットを一部多言語化（中文、繁体、英語）しただけで、町内又は近隣の市町の駅や施設の多言語化が進んでおらず、広域にわたって課題がある。よって広域にわたって推進する必要がある。美浜町としては予算をみながら、順番に取り組みをしていく。</li><li>・HPやSNSなど情報の伝達が早いものを早く多言語化して発信を強化する。</li><li>・外国人に対するおもてなしが意識が町民にほとんどないため、人材研修等でモチベーションのアップを図りたい。</li><li>・現在、美浜町はシンガポールとのフレンドシップ提携をしており、海外相互派遣をしている。東京オリバラホストタウンに認定されたのを機会に、訪日客の取り込みを図りたい。</li></ul>
-------	---

### 第3号様式 別紙

#### 宿泊事業者等団体

名称	愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合 蒲郡支部 インバウンド部会			
住所	愛知県蒲郡市元町1番3号			
代表者氏名	蒲郡支部長兼インバウンド部会長 市川 行雄			
連絡先	TEL 0533-68-2526 FAX 0533-68-3871			
構成員	① 松風園（石川智広） ② 三谷温泉ひがきホテル（石川智広） ③ ホテル明山荘（杉山和弘） ④ 平野屋（平野寛幸） ⑤ ホテル竹島（市川行雄） ⑥ 鈴岡（秋山絹代） ⑦ 西浦グランドホテル吉慶（稲吉浩英） ⑧ 和のリゾートはづ（加藤浩章） ⑨ ホテル東海園（壁谷龍治） ⑩ 天空海遊の宿末広（平塚久美）			
団体事業	具体的な内容	館内サインの多言語化		
	実施時期	平成28年11月7日 ～ 平成28年11月29日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 1,870,000円 補助金合計 935,000円		
個別事業	具体的な内容	① Wi-Fi整備 8件 ② 館内の案内表示の多言語化 1件 ③ 客室の和洋室化 1件		
	実施時期	平成28年10月24日 ～ 平成28年12月12日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 19,591,700円 補助金合計 9,579,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	48.8 (%)	60.0 (%)	48.0 (%)

	第2四半期	56.6 (%)	65.0 (%)	56.4 (%)
	第3四半期	53.4 (%)	65.0 (%)	55.0 (%)
	第4四半期	53.8 (%)	65.0 (%)	55.7 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	2017年4月に名古屋にテーマパーク「レゴランド」がオープンし、また2017年1月より浜松市が舞台となっているNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」が放送され、近隣である蒲郡市にもその効果があると見込んでいたが、逆に宿泊地は名古屋や浜松市にシフトしてしまったと予想される。そのため、日本人を含む全体の宿泊者数が減少していることから稼働率が目標を達成できなかった。また、8月には市内に新たなホテルが稼働をはじめたことで宿泊客が流れたことや、2度の台風でキャンセルが相次いだことも要因と考えている。			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	14,231 (人)	15,750 (人)	9,894 (人)
	第2四半期	13,357 (人)	14,700 (人)	15,965 (人)
	第3四半期	9,030 (人)	10,000 (人)	12,040 (人)
	第4四半期	10,128 (人)	11,200 (人)	13,932 (人)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	第1四半期は日本人向けの受入に重点を置いた施設が多くあり外客宿泊者数は目標を達成できなかったが、営業を積極的に行ったり、OTA等のFITを意識したサイトに参画したりする施設もあり、第2四半期からは目標を上回る結果になった。また、蒲郡市観光協会や愛知県、昇龍道プロジェクトにおけるプロモーション等により、東アジアだけではなく、東南アジアからの利用が増えた施設もある。			
その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策	稼働率については、第1及び2四半期で平成27年度の数値から0.2%~0.8%落ち込み、第3及び4四半期は1.6%~1.9%増加となったが目標達成はできなかった。 外客宿泊数については、第1四半期で4,300名あまり減少したが、第2・3・4四半期は目標達成となり、全期としては目標達成となった。 中国のゴールデンルートの旅行者も第2四半期から伸びており、また各種の海外プロモーションや国内商談会等により東南アジアからの宿泊者も増えたことで、外国人観光客数の目標を達成できたものと考えている。今後も蒲郡市観光協会			

	<p>等が実施する海外での旅行博覧会やセールスに積極的に参加するとともに、各施設が実施した Wi-Fi 設置等により、お客様自身の情報発信の機会を増やし、魅力ある蒲郡のアピールに努める。また、各施設のインバウンド団体の設定本数目標を高めていくことにより、外客宿泊者数の目標を達成したい。あわせて、日本人旅行者も若干ではあるが減少しているので、そちらへの取り組みもしっかりと行い、客室稼働率を上げていきたい。</p>
--	---

### 第3号様式 別紙

宿泊事業者等団体

管理確認番号：2712402-00

名称	一般社団法人 鳥羽市観光協会			
住所	三重県鳥羽市大明東町1番7号			
代表者氏名	会長 吉川 勝也			
連絡先	(0599) 25-3019			
構成員	(別紙) 鳥羽市観光協会 会員名簿 (H28. 3. 31現在) 参照  戸田家、 <u>鳥羽グランドホテル</u> 、 <u>あじ蔵カロカロ</u> 、 <u>扇野の宿</u> <u>扇芳閣</u> 、 <u>サン浦島・悠季の里</u> 、 <u>旅荘 海の蝶</u> (補助対象事業者 6者)			
団体事業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	Wi-Fi整備 3件、テレビの国際放送設備の整備 2件、 タブレット端末の整備 1件		
	実施時期	平成28年6月1日～平成28年11月31日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 8,903,500円 補助金合計 4,100,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前> (平成27年度)	<目標> (平成29年度)	<実績値> (平成29年度)
	第1四半期	57.7 (%)	71.0 (%)	73.3 (%)
	第2四半期	67.2 (%)	81.7 (%)	72.6 (%)
	第3四半期	69.8 (%)	82.8 (%)	70.4 (%)
	第4四半期	66.3 (%)	85.0 (%)	73.8 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	・稼働率実績値は、第1四半期を除き、目標値を下回る結果となった。要因として、平成27年度は「伊勢志摩サミット」の開催もあり、国内外に向けて伊勢鳥羽志摩の地域を			

	<p>PRできていたが、その後種々の対策を講じてはいるものの、やや注目度が下がってしまったことが考えられる。事業開始前での実績値からは全体的に上昇の推移にあり、サミット効果を見据えて目標値を高く設定したことも要因の一つとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年より鳥羽市・鳥羽市観光協会は積極的にホームページやSNSでのPRを進めている。ホームページではトピックスの協調やトップ画像の月替わり更新、市内の駐車場情報を掲載する等、より利便性を高めた。また、近年注目されているインスタグラムには他のIT企業とも連携し、フォロワー数を大きく伸ばしている。</li> <li>・楽天トラベルやじゃらんといったOTAと積極的に連携し、特集ページの作成や宿泊客に対するクーポンの発行を行う等で、宿泊誘致を行った。</li> <li>・近年注目されている「ふるさと納税」において、鳥羽市では鳥羽市観光協会が事務処理・PR業務の委託を受けることで、寄附額は昨年度と比較し飛躍的に増額した。加えて、鳥羽のPRにもつながっていると考えられる。また、ふるさと納税業務により得た収入は、特別事業として様々なイベントを打ってきた。その一つに「鳥羽フラ2018」があり、全国的なフラダンスの大会にすべく、今後継続して実施していく。（今回の鳥羽フラ2018の動員数は、のべ2300名であった。）</li> </ul>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p>&lt;事業開始前&gt; (平成27年度)</p>	<p>&lt;目標&gt; (平成29年度)</p>	<p>&lt;実績値&gt; (平成29年度)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合計外客宿泊数としては、全四半期において目標値を下回る結果となったが、全体を通しては、事業開始前から着実に増加しており、平成27年度当初よりは、上昇傾向にあるという結果であった。</li> <li>・伊勢志摩サミットを契機に、様々なメディアやSNSでの発信を行ったことによる個人の観光客やFITの増加を見越して</li> </ul>			

	<p>目標値を高く設定したことも目標未達の原因と考えられる。しかしながら、世界的に伊勢志摩鳥羽の名前は浸透したことは間違いなく、今後もポストサミットの取り組みとして継続的にインバウンド関連の事業を実施していくことで外客宿泊は伸ばしていけると考えている。</p> <p>・鳥羽市観光協会では前述のとおり積極的にInstagramでのPRを進めており、外国人に対しても一定の効果・認知度向上があったと考えられる。</p>
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>世界で初めて養殖真珠を育んだ美しい海、古来より受け継がれてきた海女文化、美しい海と豊かな海産資源を有したこのまちを訪日外国人にアピールするため、今回導入した「客室内のWi-Fi整備」「国際放送設備の整備」「業務効率化のタブレット端末整備」を活用して、より一層の外国人へのPRを推進する。今回設定した目標値には届かなかったが、着実に増加傾向にある。鳥羽市観光協会としてもインバウンドに対する予算組みをし、各関係団体と連携しながら翌年度以降も推進していく。</p> <p>Wi-Fiの拡大により、鳥羽市観光協会では公式ホームページをスマホ対応化した。現地でのスマホを活用した観光PRやQRトランスレーターを活用した多言語化等の検討も進めている。また、鳥羽の魅力でもある風景や食の写真撮影を積極的に行っており、視覚的な魅力の充実を図っている。また、ドラマ「恋する鳥羽」を制作し（CATVにて放送済、youtubeにて配信中）、鳥羽の「人」にスポットを当てた取り組みも展開している。</p> <p>SNSにおいても、Instagram等に加えて、トリップアドバイザーなど外国人が多数利用するアプリなどにも積極的に投稿を行い、外国人観光客の誘致を図る。</p> <p>平成30年度には、ブリュッセル国際コンクールにて新設された日本酒部門の誘致に成功しており、平成30年10月に鳥羽市にて開催が予定されている。国内外に鳥羽をPRする絶好の機会である。日本が世界に誇る海女文化についても、積極的に世界に発信をしている。高速度のWi-Fi等を活用し、今後も海女の声や映像を外国人に向けて発信する。</p> <p>鳥羽市インバウンド協議会の中で、今後も今回整備された内容の活用も含め、対策を検討していく予定である。</p>

### 第3号様式 別紙

#### 宿泊事業者等団体

名称	一般社団法人 志摩市観光協会	
住所	〒517-0501 三重県志摩市阿児町鶴方1670-2	
代表者氏名	会長 西尾 新 (にしお しん)	
連絡先	TEL 0599-46-1112 携帯 090-5871-7348	
構成員	<p>① NEMU HOTEL&amp;RESORT 川内 宏文          ② セレクトグランド伊勢志摩 石田 茂          ③ <u>志洲閣 (ししゅうかく)</u> 池田 哲太郎          ④ <u>富久潮 (ふくしお)</u> 尾崎 茂人          ⑤ <u>檜扇荘 (ひおうぎそう)</u> 渡辺 孝信          ⑥ リゾートパークともやま 濱 治美          ⑦ <u>パールイングリメ竹正 (たけしょう)</u> 竹内 正博          ⑧ <u>賢島グランドホテル</u> 谷口 彰吾          ⑨ <u>弁天荘 (べんてんそう)</u> 大東 珠光</p> <p>(構成員9者、うち補助対象事業者6者(計画時9者))</p>	
団体事業	具体的な内容	団体(志摩市観光協会)としての申請はありません
	実施時期	
	必要な資金の額及びその調達方法	
個別事業	具体的な内容	Wi-Fi整備1件、トイレの洋式化5件、ウェブサイトの多元語化1件
	実施時期	平成28年10月20日～平成28年12月15日
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 7,813,491円 補助金合計 3,801,000円



全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前> (H27年度)	<目標> (H29年度)	<実績値> (H29年度)
	第1四半期 (4~6月)	37.0 (%) (16.2)	47.0 (%) (20.6)	11.8 (%)
	第2四半期 (7~9月)	39.9 (%) (16.1)	52.0 (%) (21.0)	18.5 (%)
	第3四半期 (10~12月)	36.9 (%) (15.8)	47.0 (%) (20.1)	16.0 (%)
	第4四半期 (1~3月)	36.8 (%) (16.5)	47.0 (%) (21.1)	16.9 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	<p>・平成28年5月の伊勢志摩サミット開催による知名度の向上及び志摩市観光協会が実施するインバウンド誘致活動による東アジア、東南アジアを主とするメディア及び旅行代理店への現地プロモーションと市の現地での招請活動の実施による大幅な増加となった結課が主な誘因となった。</p>			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前> (H27年度)	<目標> (H29年度)	<実績値> (H29年度)
	第1四半期 (4~6月)	5,231 (人) (17)	5,764 (人) (19)	137 (人)
	第2四半期 (7~9月)	5,575 (人) (56)	6,269 (人) (62)	96 (人)
	第3四半期 (10~12月)	5,959 (人) (17)	6,573 (人) (19)	100 (人)
	第4四半期 (1~3月)	5,631 (人) (17)	6,217 (人) (19)	74 (人)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	<p>・平成28年5月の伊勢志摩サミット開催による知名度の向上及び志摩市観光協会が実施するインバウンド誘致活動による東アジア、東南アジアを主とするメディア及び旅行代理店への現地プロモーションと市の現地での招請活動の実施による大幅な増加となった結課が主な誘因となった。</p>			
その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策	<p>今回のHP多言語化、トイレの洋式化、Wi-Fi環境整備を契機とし訪日宿泊者獲得に向け特に以下の取り組みを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語化したHPにより、海外から直接予約FIT層の獲得、海外OTA利用宿泊者へより具体的な施設情報提供、予約転換を目指す。</li> <li>・行政プロモーション等と連携し施設のインバウンド受入体制強化を積極的に発信。メディア・現地旅行会社等の招請機</li> </ul>			

	<p>会に当該施設PR行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・継続的に訪日外国人を受入れしやすい環境、トイレの洋式化、Wi-Fi環境整備など行い、日本人観光客の閑散期に誘致強化を行って行く。</li></ul>
--	--

### 第3号様式 別紙

#### 宿泊事業者等団体

名称	飛騨高山旅館ホテル協同組合			
住所	〒506-0011 岐阜県高山市本町1丁目2番地			
代表者氏名	理事長 村井繁喜			
連絡先	電話 0577-57-9800 e-mail <a href="mailto:jimu@takayamaryokan.jp">jimu@takayamaryokan.jp</a>			
構成員	63名 構成員名簿別紙のとおり うち補助対象事業者 11名 高山グリーンホテル、龍リゾート&スパ、ヴィラージュ荘 川高原、高山観光ホテル、臥龍の郷、高山シティホテルフ ォーシーズン、旅館清龍、宝生閣、寛ぎの舎游、ペンショ ン飛騨の森、飛騨亭花扇・花扇別邸いいやま			
団 体 事 業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びそ の調達方法			
個 別 事 業	具体的な内容	(1) W i - F i 整備 10件 (2) 多言語化整備 3件		
	実施時期	平成28年9月12日～平成28年12月31日		
	必要な資金の額及びそ の調達方法	補助対象経費合計 13,353,721円 補助金合計 6,318,000円		
全 体 稼 働 率 の 目 標 及 び 実 績 値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	(%) 68.06	(%) 70.97	(%) 65.46
	第2四半期	(%) 71.73	(%) 74.28	(%) 70.06
	第3四半期	(%) 73.66	(%) 76.09	(%) 67.36
	第4四半期	(%) 64.97	(%) 67.93	(%) 62.87

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>稼働率実績値は目標値を下回る結果となったが、補助を辞退した宿泊事業者を除き補助対象事業者のみで算出した場合は、これに相当する目標値に近づいている。これは、補助対象者宿泊施設のみでなく飛騨高山旅館ホテル協同組合をはじめ高山市と一緒に、全国はもとより海外に向けての誘客活動を展開している賜物であり、平成29年高山市(旧高山市内)における観光客の入込者数は361万3千人で、宿泊者数は221万3千人となり、そのうち外国人観光客については、過去最高の51万3千人と前年と比べて11%増となった。</p> <p>外国人観光客は増加傾向にあるが、各施設における宿泊については1部屋当たりの宿泊者が多人数でなく、1~2人使用がほとんどで1部屋自体の稼働率の上昇にはあまりつながらなかったように思われる。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p>&lt;事業開始前&gt;</p>	<p>&lt;目標&gt;</p>	<p>&lt;実績値&gt;</p>
	<p>第1四半期</p>	<p>(人) 21,730</p>	<p>(人) 23,933</p>	<p>(人) 19,628</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>(人) 12,982</p>	<p>(人) 14,743</p>	<p>(人) 12,130</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>(人) 16,477</p>	<p>(人) 18,127</p>	<p>(人) 16,380</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>(人) 16,959</p>	<p>(人) 18,771</p>	<p>(人) 18,670</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>補助対象宿泊施設のみの目標は達成できなかったが、宿泊者数は221万3千人となり、そのうち外国人観光客については、過去最高の51万3千人となり前年と比べて11%増となった。高山市では、官民一体となって平成29年「ユネスコ無形文化遺産登録記念高山祭屋台総曳き揃え」を実施し観光客の誘客活動を展開するなど、さらに外国人観光客の入込について宿泊施設事業者においても一緒になって誘客活動を行い宿泊者数増に努力している。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>高山市では、官民一体となり外国人観光客の受け入れ整備を推進しており、中でもWi-Fiが使用できる整備を進め各宿泊施設においてもインバウンド観光客の受け入れのためにWi-Fiをはじめ様々な整備を進めています。各宿泊施設において整備した内容をHP上で情報発信するなど1人でも多くの観光客の方においでいただくために努力しています。</p>			

### 第3号様式 別紙

#### 宿泊事業者等団体

名称	愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合 蒲郡支部 インバウンド部会			
住所	愛知県蒲郡市元町1番3号			
代表者氏名	蒲郡支部長兼インバウンド部会長 市川 行雄			
連絡先	TEL 0533-68-2526 FAX 0533-68-3871			
構成員	① 松風園（石川智広） ② 三谷温泉ひがきホテル（石川智広） ③ ホテル明山荘（杉山和弘） ④ 平野屋（平野寛幸） ⑤ ホテル竹島（市川行雄） ⑥ 鈴岡（秋山絹代） ⑦ 西浦グランドホテル吉慶（稲吉浩英） ⑧ 和のリゾートはづ（加藤浩章） ⑨ ホテル東海園（壁谷龍治） ⑩ 天空海遊の宿末広（平塚久美）			
団体事業	具体的な内容	館内サインの多言語化		
	実施時期	平成28年11月7日 ～ 平成28年11月29日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 1,870,000円 補助金合計 935,000円		
個別事業	具体的な内容	① Wi-Fi整備 8件 ② 館内の案内表示の多言語化 1件 ③ 客室の和洋室化 1件		
	実施時期	平成28年10月24日 ～ 平成28年12月12日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計 19,591,700円 補助金合計 9,579,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	48.8 (%)	60.0 (%)	48.0 (%)

	第2四半期	56.6 (%)	65.0 (%)	56.4 (%)
	第3四半期	53.4 (%)	65.0 (%)	55.0 (%)
	第4四半期	53.8 (%)	65.0 (%)	55.7 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	2017年4月に名古屋にテーマパーク「レゴランド」がオープンし、また2017年1月より浜松市が舞台となっているNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」が放送され、近隣である蒲郡市にもその効果があると見込んでいたが、逆に宿泊地は名古屋や浜松市にシフトしてしまったと予想される。そのため、日本人を含む全体の宿泊者数が減少していることから稼働率が目標を達成できなかった。また、8月には市内に新たなホテルが稼働をはじめたことで宿泊客が流れたことや、2度の台風でキャンセルが相次いだことも要因と考えている。			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	14,231 (人)	15,750 (人)	9,894 (人)
	第2四半期	13,357 (人)	14,700 (人)	15,965 (人)
	第3四半期	9,030 (人)	10,000 (人)	12,040 (人)
	第4四半期	10,128 (人)	11,200 (人)	13,932 (人)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	第1四半期は日本人向けの受入に重点を置いた施設が多くあり外客宿泊者数は目標を達成できなかったが、営業を積極的に行ったり、OTA等のFITを意識したサイトに参画したりする施設もあり、第2四半期からは目標を上回る結果になった。また、蒲郡市観光協会や愛知県、昇龍道プロジェクトにおけるプロモーション等により、東アジアだけではなく、東南アジアからの利用が増えた施設もある。			
その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策	稼働率については、第1及び2四半期で平成27年度の数値から0.2%~0.8%落ち込み、第3及び4四半期は1.6%~1.9%増加となったが目標達成はできなかった。 外客宿泊数については、第1四半期で4,300名あまり減少したが、第2・3・4四半期は目標達成となり、全期としては目標達成となった。 中国のゴールデンルートの旅行者も第2四半期から伸びており、また各種の海外プロモーションや国内商談会等により東南アジアからの宿泊者も増えたことで、外国人観光客数の目標を達成できたものと考えている。今後も蒲郡市観光協会			

	<p>等が実施する海外での旅行博覧会やセールスに積極的に参加するとともに、各施設が実施した Wi-Fi 設置等により、お客様自身の情報発信の機会を増やし、魅力ある蒲郡のアピールに努める。また、各施設のインバウンド団体の設定本数目標を高めていくことにより、外客宿泊者数の目標を達成したい。あわせて、日本人旅行者も若干ではあるが減少しているので、そちらへの取り組みもしっかりと行い、客室稼働率を上げていきたい。</p>
--	---